

令和3年11月

## 袋井市議会定例会

### 代表質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。

Yahoo! や Google などの検索画面から

[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ

携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

代表質問通告議員

実施日時	質問順	会派名 議員名	質問形式	ページ
11/30 (火) 午前	1	自民公明クラブ 高木 清隆	一括	3
11/30 (火) 午後	2	緑風会 近藤 正美	一括	10
	3	市民クラブ 大庭 通嘉	一括	13

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<p><b>令和4年度・予算編成方針について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症を機に、日本の社会は急速なスピードで変化しているなか、まちの将来像である「活力と創造で 未来を先取る 日本一健康文化都市ふくろい」の実現に向け、第2次袋井市総合計画後期基本計画並びに第2期輝く”ふくろい”まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みを着実に推進する必要がある。</p> <p>(1) コロナ禍における社会変容や価値観の変化、地方回帰等、時代の潮流をどう捉えておられるのか。</p> <p>(2) 新型コロナウイルス感染症の終息後の袋井市における、新たな時代に適合したまちづくりに向けて、今後の袋井市に最も必要なものは何か。</p> <p>(3) 令和4年度予算編成において、「スマイルシティふくろい」の実現に向けて、前年踏襲ではなく、思い切った事業の断捨離の実行との記載がある。</p> <p>ア 前年度繰越金や基金の繰り入れに頼らない予算編成に当たるための取り組みと考えるか。</p> <p>イ 民間経営者の視点から、市民の視点に立ち、行財政改革の推進を前提とした聖域のない見直しに取り組むとの考え方と理解して良いのか。</p> <p>ウ 6つの重要な視点が示されている。この6つの視点を具現化するための、重点施策、新規施策、拡充施策、廃止・縮小施策については。また、6つの視点の具現化に向けた地方創生推進交付金を前提とした事業の立案への考え方については。</p> <p>(4) 市民生活や事業活動における「現場の声」を的確に捉え、そのニーズに対応する必要がある。今後、どう取り組んでいかれるのか。</p> <p>(5) 歳入の確保と歳出の抑制に向けた取り組みについて</p> <p>ア 特定財源の確保に向けた取り組みについては。</p>				市長

質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<p>イ 新たな資金調達に向けた取り組みについては。</p> <p>ウ 時間外勤務の縮減に向けた取り組みについては。</p> <p>エ 扶助費における不用額の抑制に向けた取り組みについては。</p> <p>オ 基金の活用に向けた検討が必要では。</p> <p>(6) 行政運営の効率化・最適化への取り組みについて</p> <p>ア 効果の見える化、証拠に基づく政策立案の推進が必要では。</p> <p>イ 行政サービスにおける公益性の観点からの技能労務職員の必要性について再検討が必要では。</p> <p>ウ 民間活力の導入に向けては、どのような取り組み・手法を取り入れていく考えなのか。</p>				市長
<b>2</b>	<p><b>コロナ禍からの、地域経済の再生策について</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、人々の生活様式が変化を遂げつつあるなか、ウイズコロナ下を生き抜くためには、地域経済再生策に向けた取り組みが必要。</p> <p>(1) まん延防止等重点措置から緊急事態宣言が、本市にも発令されたが、市内経済への影響を、どのように捉えているか。</p> <p>(2) 地域経済再生に向けた市の考え方は。また、再生に向けた取り組みとして、どのような支援策が考えられるのか。</p>				市長
<b>3</b>	<p><b>市内産業と地域経済の成長に向けて</b></p> <p>市民が、本市の将来に魅力や期待を感じる「まちづくり」の推進が重要。</p> <p>(1) 農地法等の厳しい法令に基づく指導があるなか、市民の期待と希望が持てるまちづくりに向け、どのような考えの基に、取り組んでいく考えなのか。</p>				市長

質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3</b>	<p>(2) 袋井駅南田端商業地区内において、6店舗が先駆けてオープンした。袋井駅南開発においては、袋井駅北を含め、回遊性を促すなかで、交流や賑わいを創出し、JR袋井駅を中心とした中心市街地活性化につながるとされているなか、</p> <p>ア 「どまんなか袋井まちづくり株式会社」における、袋井駅北の活性化に向けた取り組み状況と今後の推進に向けた、担当部局との協議状況については。</p> <p>イ 市長は、企業経営者としての視点から、中心市街地の活性化に向け、具体的な考えをお持ちなのか。</p>				市長
<b>4</b>	<p><b>企業誘致に向けて</b></p> <p>企業誘致に向けては、ウイズコロナ、アフターコロナの時代に向け、人や企業を地方へ分散させてのビジネス創出や地域活性化につながる、持続可能なまちづくりに向けた取り組みが必要。</p> <p>(1) 市内外企業における、企業ニーズの動向については。</p> <p>(2) ポスト・ものづくりとして、袋井市の成長に必要な業種は何か。</p> <p>(3) 企業ニーズに応じた魅力ある新たな工業用地の創出に向け、適正規模と開発可能候補地選定に向けた、新たな土地利用可能性調査に取り組む必要があるのでは。</p> <p>(4) 都市計画道路森町袋井インター通り線建設促進期成同盟会における、建設促進に向けた取り組み状況と、今後の対応については。</p>				市長
<b>5</b>	<p><b>観光振興に向け、歴史資源の活用を</b></p> <p>コロナ禍において、本市においても観光交流客数が大きく減少している中、袋井市観光基本計画における観光交流客数の目標数500万人達成に向けた取り組みが必要。</p> <p>(1) NHK大河ドラマとして、令和4年には「鎌倉殿の13人」が、令和5年には「どうする家康」が始まる。いずれも本市とゆかりが深いテーマであり、本市を宣伝する絶好の機会である。どのような情報発信を考えているのか。</p>				市長

質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>5</b>	<p>(2) 本市には、可睡齋をはじめ徳川家康にゆかりのある史跡が多数多く存在している。これらの史跡を広く市民に紹介し、つなぎ、磨き、魅力を高める仕掛けとして、どのような取組活動を考えているのか。</p> <p>(3) 本市の観光は、「安・近・短・少」の傾向にあり、宿泊客数を増やし、滞在型へ誘導していくことが求められている。今回のNHK大河ドラマを活かした企画が必要と考えるがどうか。</p>				市長
<b>6</b>	<p><b>省エネルギー・再生可能エネルギーの推進に向けた取組みについて</b></p> <p>2050年の温室効果ガスを排出ゼロにすることを目標として、化石燃料依存から一刻も早く脱却し、再生可能エネルギーを根幹とする社会づくりが求められている。</p> <p>(1) 第2期袋井市環境基本計画において、低炭素社会の推進に向け、個別目標として省エネルギーや再生可能エネルギーの導入を推進することとなっている。現状と取組状況については。</p> <p>(2) 低炭素社会の実現に向けて、市民が暮らす住宅や事業所などへの省エネルギーの普及が必要不可欠である。現状と取組み状況については。</p>				市長
<b>7</b>	<p><b>農業振興に向けて</b></p> <p>農業者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等により、地域農業の展望を描くことが困難なかには、農村の生産基盤や生活環境施設の総合的な集約・再編等を通じた、利便性・効率性に取り組むことにより、農業が持つ産業としての競争力強化と地域活性化の両立を図る取組みが必要。</p> <p>(1) 農業インフラの戦略的な再編・保全に向け、本市としての基本的な考え方については。</p> <p>(2) 食料供給を支える基幹的な生産基盤の耐震化への取組み状況については。</p> <p>(3) スマート農業に向け、新たな農業のための技術の実用化が進んでいるなか、スマート農業を実現し、期待される効果を発揮させるための基盤（インフラ）として重要となる、水利・情報・社会（制度）基盤の整備の必要性と課題については。</p>				市長

質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>7</b>	<p>(4) 担い手確保・産地維持方策としての通勤農業が注目されている。現状における通勤農業の実態から、本市の農業振興に及ぼす影響力や効果、課題については。</p> <p>(5) 農業者の所得向上と環境負荷軽減を両立し、持続的な食糧生産を目指し、「国消国産」の取り組みについて、本市の考え方は。</p>				市長
<b>8</b>	<p><b>市民の健康に向けたバージョンアップに向けて</b></p> <p>健康寿命日本一に向けた取り組みの推進においては、市民が、安心して、より充実した人生を送るためには、保健・医療・福祉施策のさらなる施策の推進が必要。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症への対応にあたっては、いち早く対策本部を立ち上げ、行動制限の依頼など、多くの制約を市民にお願いしてきたなかで、感染症対策を推進するなかで、本市の強みと弱みは何であったかを問う。</p> <p>(2) 緊急事態宣言の発令に関する新たな指標に関する見解は。</p> <p>(3) スポーツ環境が充実されることは、誰もが求めている。健康寿命日本一の実現に向けては、スポーツ施設等の整備・充実に向けた積極的な取り組みが必要不可欠であることから、これまで・これからの取り組み方針や考え方は。</p>				市長
<b>9</b>	<p><b>より良い子育て環境の構築について</b></p> <p>人間力のある子どもの育成のためには、教職員の子ども一人一人に対する、きめ細やかな教育や、保護者や地域が一体となった子育て環境の構築が必要不可欠であるなか、必要性が高まってきている、放課後児童クラブが抱える課題解決に向けた取り組みが必要。</p> <p>(1) 放課後児童クラブにおいて、余裕を持った受け入れ体制構築のため、放課後児童支援員と補助員不足への対応については。</p> <p>(2) 年齢制限、給与体系、福利厚生等の身分保障に向け、本市における会計年度任用職員の条件と同様の雇用体制の構築が必要では。</p>				教育長

質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>9</b>	<p>(3) 一部の放課後児童クラブの待機児童問題に加えて、新型コロナウイルス感染症対策として、ソーシャルディスタンス確保のためのキャパシティ問題は、どのように解決していく考えなのか。</p> <p>(4) 放課後児童クラブにおいては、市からの委託料と保護者負担金をもとに運営している。外部への報告義務、内部の管理資料として、適切な会計処理が求められていることから、どのような指導に取り組んでいるのか。また、誰が見ても同じように把握できるような、一定のルールを示した会計処理の手引書にて指導されているのか。</p>				教育長
<b>10</b>	<p><b>災害時における備えと避難所の備えについて</b></p> <p>近年多発する自然災害やいつ起こるかわからない南海トラフ巨大地震に対し、個の備えと、避難所の備えを万全にする必要がある。</p> <p>(1) 避難所の立地環境が自然災害に対して、安全が確保されているか。また、天井等の非構造部材の耐震対策など、避難者にとり必要な安全対策は講じられているか。</p> <p>(2) 障がい者、高齢者、乳幼児、妊産婦等の避難生活において、特別な配慮が必要な方々のための設備を備えた専用スペースを可能な限り確保することが望まれる。確保に向けた取り組みについては。</p> <p>(3) 男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドラインのもとに、女性や乳幼児が早期に必要なと思われる物資について、用途に応じた備蓄の状況については。</p> <p>(4) 避難所の運営において、避難生活が長期化した場合、避難者の心身の健康を維持していくことが必要となる。そのためには、避難所の関係者間での、要配慮者の状態・ニーズについて、情報共有を図り、体調管理を継続的に取り組むことが必要となることから、医療・保健・福祉の専門職能団体との連携構築に向けて、どう取り組んでいくのか。</p>				市長
<b>11</b>	<p><b>無電柱化に向けて</b></p> <p>近年発災した大規模地震においては、多くの電柱が倒壊し、救助活動や復旧作業の妨げとなった。本市においても、無電柱化への取り組みは、重要な防災対策にほかならない。</p>				市長



質問順序	1	会派名	<b>自民公明クラブ</b>	質問者	<b>高木 清隆</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>11</b>	<p>（1）国土交通省では、令和3年度を初年度とする「無電柱化推進計画」を策定。これを受け、本市における、無電柱化に向けた取り組みについて伺う。併せて生活道路における無電柱化に対する考え方については。</p> <p>（2）無電柱化推進計画の策定については、市町村の努力義務と位置付けされているが、策定に向けた考え方については。</p>				市長
<b>12</b>	<p><b>地方創生・「転職なき移住」への取り組み</b></p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの国民がテレワークを経験し、地方移住やワークライフバランスの充実への関心の高まりを逃がさない取り組みが必要。</p> <p>（1）「転職なき移住」における、自治体・企業・働き手のメリットをどう捉えているか。</p> <p>（2）「転職なき移住」に向けた、本市における環境整備の課題については。</p> <p>（3）地方創生テレワークの促進に向けた、サテライトオフィスの整備への取組状況については、自治体や企業、経済団体が連携し、一体となり施策を推進することが必要と考えるがどうか。</p>				市長
<b>13</b>	<p><b>地方創生・市内高等学校との包括連携協定の締結に向けて</b></p> <p>若い世代の発想力や行動力を活かし、次代を担う人材を地域で育み、魅力あるまちづくりを進める取り組みが必要。</p> <p>（1）これまで、さまざまな事業に対し、高校生が本市事業に参画し、地域について学び、考えていただいたなかで見えてきた課題は何か。</p> <p>（2）存在意義を高めるためには、連携の基盤を強固にし、高校生の郷土愛や地元への帰属意識を高め、持続可能な地域社会を構築していく上では、包括連携協定を結ぶべきと考えるかどうか。</p> <p>（3）これまでの事業協力を踏まえ、高等学校、行政の双方において、大きなメリットとなる連携項目とは、どのようなものか。</p>				市長

質問順序	2	会派名	<b>緑風会</b>	質問者	<b>近藤 正美</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>1</b>	<b>ふくろい産業イノベーションの振興策について</b> コロナ禍にあって、時代の潮流を受けて発足した「ふくろい産業イノベーションセンター」を中心として、市内の企業を「稼ぐチカラ」のある企業に体質改善するには、行政が主導して産学官金が一体となった伴走型支援が求められる。				市長
	(1) 市内の企業を「稼ぐチカラ」のある企業に体質改善するのに、行政の果たす役割は何か。				
	(2) 「ふくろい産業イノベーションセンター」の活動による手応えと課題は何か。  (3) 経済環境の大きな変化に戸惑う中小企業を、今後どう支援するか。				
<b>2</b>	<b>大規模災害時における本市職員の対応について</b> 予想される南海トラフ巨大地震が発生した際には震度7の地震が予想され、平時からの命を守る取り組みが重要である。加えて、近年の台風や集中豪雨などの異常気象では、市域に大きな被害が発生してもおかしくない状況である。				市長
	(1) 地震災害における市内指定避難所63カ所に市職員を配置するのに、現在の配置計画で十分か。  (2) 市職員の人的被害や道路の分断など、最悪のケースが想定された災害対応が計画されているか。				
<b>3</b>	<b>「子どもが健やかに育つまち」について</b> 少子化と核家族化の進行に加えて、コロナ禍の影響による子育て支援の場や親同士の交流の機会の縮小などの対応に、支援の充実が必要である。また、ICT教育など教育環境の劇的な変化に、サポート体制の充実を図る必要がある。「子育て分野」と「教育分野」に分けて伺う。				市長
	(1) 子育て分野に関して  ア 本市の合計特殊出生率をどう捉え、その向上のため、今後どのように取り組んでいくか。 ..... イ 地域子育て広場の実施箇所数や母親クラブ等の子育て支援団体が少ない、伸び悩んでいるように思えるがどうか。				
					..... 教育長

質問順序	2	会派名	<b>緑風会</b>	質問者	<b>近藤 正美</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3</b>	<p>ウ 子育て世帯の不安を解消するため、健康づくり課をはじめ、関係各課との連携が重要と思われるが、どのような支援体制を取っていくか。</p> <p>(2) 教育分野に関して</p> <p>ア 「将来の夢や目標を持っている」と答える児童生徒の割合が低いように感じるがどうか。また、今後の取り組みについてはどうか。</p> <p>イ いじめや不登校の未然防止に向け、学級経営や学校に楽しく通うことができる体制づくりをどう整えていくか。</p> <p>ウ コロナ禍でもあり、月見の里学遊館とメロープラザの利用が減っている。市民ニーズに合った事業の展開をどう図っていくか。</p>				教育長
<b>4</b>	<p><b>移住・定住・交流事業の新たな取り組みについて</b></p> <p>地方創生に向け、移住・定住・交流事業の推進がなされてきたが、近年、地域や地域の人達と多様に関わる人達を指す「関係人口」の創出・拡大に向けた取り組みが重要性を増してきている。地域活性化に向けた新たな取り組みが求められる。</p> <p>(1) 移住・定住・交流の促進や関係人口の創出・拡大に向けた事業や、支援制度の実績および成果を、どのように分析しているか。</p> <p>(2) 「地域おこし協力隊」に対する本市の見解および導入の可能性はどうか。</p> <p>(3) 「ふるさとワーキングホリデー」に対する本市の見解および導入の可能性はどうか。</p>				市長
<b>5</b>	<p><b>日本一健康文化都市を目指す、本市の施策に関して</b></p> <p>本市は、平成5年（1993年）に、「日本一健康文化都市」を宣言してから、心と体の健康、家族や地域が温かく、都市と自然が調和しているなど、人もまちもすべてが健康で、住みやすく、活力あふれる都市を目指し、市民の皆さんと一緒に「健康」を柱としたまちづくりを進めてきた。健康に関して、今後より一層、本市の先進的な取り組みに期待する。2分野に分けて伺う。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策に関して</p> <p>ア マスクや消毒液等の備品、また、抗原検査キットの所持数量はどうか。</p>				市長

質問順序	2	会派名	<b>緑風会</b>	質問者	<b>近藤 正美</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>5</b>	<p>イ 軽症者の自宅待機および宿泊施設を利用する際の市の対応はどうか。また、県とはどのような連携をとるか。</p> <p>ウ 3回目のワクチン接種が予定されているが、前回の接種体制や人員配置及び医師会との連携等の中で、うまくいった点や改善点は何か。また、国や県から示されている接種に関する指針の中で、必要であれば広域市町と共に要望や提言を挙げていく必要があると感じるがどうか。</p> <p>(2) 本市の健康政策に関して</p> <p>ア 新年度予算方針の中で、日本一健康文化都市を踏襲し、市民が笑顔となるために、どのような健康政策を行う考えか。</p> <p>イ たばこによる健康への影響に関して、条例施行後の本市の取り組みと、今後喫煙者減少、受動喫煙のないまちを目指して、どのような取り組みをしていくか。</p> <p>ウ 糖尿病の予防に関して、ポピュレーションアプローチをどのように市民に周知していくか。また、健康教育に関しては、担当課とその他の部署や企業と、今以上の連携が必要であると考えているがどうか。</p>				市長

質問順序	3	会派名	市民クラブ	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p><b>市長の政治姿勢</b></p> <p>令和4年度の予算編成の基本方針として6つの重要な視点のもと26の具体的項目について市長より指示が発出された。</p> <p>(1) 「FUKURO I ver 2. 0」にするとしているがどのようなものか。</p> <p>(2) これまでの事業でスクラップ（断捨離）したい事業とは何か。</p> <p>(3) 本市の地方債現在高「借金」についての市長の見解を伺う。</p> <p>(4) 今後市長の在任中、実施したい事業、実施しなければいけない事業をどのように考えているか。</p> <p>(5) 袋井駅南まちづくり事業の完成を記念してのメモリアルイベントを考えているか。</p>				市長
2	<p><b>袋井市の温暖化対策</b></p> <p>我が国は、二酸化炭素排出量削減目標を2013年度比2030年を46%削減に、また、2050年のカーボンニュートラルを目標に掲げた。</p> <p>(1) 袋井市の今後の温室効果ガス削減に向けての考え方は。</p> <p>(2) 2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明をする考えはないか。</p> <p>(3) 地方公共団体実行計画等の具体的な策定をどのように考えているか。</p> <p>(4) 袋井市内7,475,000トン-二酸化炭素の具体的削減方法はどうか。P P A（電力供給契約）等、電力の地産地消をどのように推進していくか。</p> <p>(5) 温室メロンの温暖化対策に対する見解と支援策、G E Tシステムの進捗状況と想定している成果はどうか。</p>				市長

質問順序	3	会派名	市民クラブ	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>3</b>	<b>袋井市におけるデジタル化の推進</b> 国ではデジタル社会形成基本法案が今年4月に可決され、また9月にはデジタル庁が設置をされて、積極的にDX（デジタル・トランスフォーメーション「デジタル変革」）が進められている。  (1) 第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画の政策分野別31施策の進捗状況と課題をどう認識しているか。  (2) 第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画の推進体制は機能しているか。RPAなど業務のデジタル化に向けての導入推進体制は。  (3) 国を先取りした袋井市版DX（デジタル・トランスフォーメーション「デジタル変革」）の事業を具体的にどのように考えているか。  (4) デジタルデバイド（情報格差）解消に向け新年度どのように考えているか。高齢者への分かりやすいスマートフォン・パソコンなどの「出前講座の開催等」を実施してはどうか。				市長
<b>4</b>	<b>ゴミ袋有料化の市民説明会の結果を受けて</b> 6月市議会定例会の一般質問後、14コミュニティセンターでゴミ袋有料化（値上げ）の説明会を進めてきた。説明会を終えての今後の進め方は。  (1) 紙ゴミ、生ゴミ、プラスチックゴミ、剪定枝等、具体的減量化に向けて、数値目標を定め、いつから、どのような手法で分別収集をするか。自治会・連合会単位による回収ボックス設置によるステーション方式による回収の考えはないか。  (2) 2030年30%削減を目標にした段階的な具体的な削減方法は。達成できなかった場合はどのようにするのか。  (3) 事業系ゴミ袋の値上げの中止決定をどう周知するか。事業系ゴミの分別による削減策は。今後、事業系のゴミ袋は作成しないのか。  (4) 袋井市森町広域行政組合（中遠クリーンセンター）の処理手数料改定の説明・周知をいつ、どのように行うのか。  (5) ゴミ袋値上げ中止報告と分別収集の徹底のための市民説明会の開催は。				市長

質問順序	3	会派名	<b>市民クラブ</b>	質問者	<b>大庭 通嘉</b>
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<b>4</b>	<p>(6) タンス家具・衣類の廃棄物のリサイクル、リユースの考え方は。実施する場合の事業の実施主体とリサイクル品の取り扱い場所、（回収・保管・販売）の考えは。</p> <p>(7) 雑紙（ざつがみ）に市独自のロゴマークを作成・印刷し、分別回収の促進を図ってはどうか。</p>				市長
<b>5</b>	<p><b>宇刈里山公園の整備</b></p> <p>当該公園の貝化石群は日本地質学会表彰を受賞し、静岡県内の県石にも認定されている。県内3カ所の1カ所で、修学旅行にも活用されている。</p> <p>(1) 市内外からの見学者もあり、認定地としての露頭の保全整備拡充を。 .....</p> <p>(2) ミニジオパーク博物館を設置し、いつでも見学できる施設の整備を。</p>				市長     教育長